

WEBアンケート

ご協力をお願い

画像検査における異常所見報告に関する実態調査(アンケート調査)

日本診療放射線技師会ではSTAT画像報告分科会が緊急性のある画像について医師に報告できる放射線技師の育成を目指し、夜間診療や救急で読影補助の需要が高いとして異常所見を情報提供し見逃し防止につなげるとしています。

異常所見を報告する手段としては口頭報告だけでなく、電子カルテ入力や一次読影レポートの作成など様々な方法が報告されており、各々の施設にあった報告方法を導入しているように思われます。

しかし、このような施設は一部であり、放射線技師による異常所見報告を行っていない施設も多く存在します。

そこで、日本救急撮影技師認定機構(JERT)では研究班を設置し、その基礎段階といえる全国的な実態調査を行う事としました。

本調査では放射線技師の画像認識能力および報告能力に対して全国的なボトムアップを行うことを最終的な目標としていますが、今後統一された指針を策定する上で土台となる現状を把握することは重要だと考えます。

お忙しい中恐縮ですが、何卒アンケート回答のご協力をお願い致します。

日本救急撮影技師認定機構 画像検査における異常所見報告に関する実態調査班
班長 大垣市民病院 診療検査科 市川 宏紀

みんな
所見報告
どうしてる??

アンケート回答先

QRコードを読み取り、
googleフォームに
アクセスして回答を
お願いします。



-ご回答に当たって-

- 回答時間の目安はおおよそ5-10分ほどです。
- スマートフォンやタブレットなどからQRコードを読み取り、Googleフォームにてご回答お願い致します。
- 対象は全国の診療放射線技師です。各施設ごとに1回答が理想です。
- アンケート結果は来年度以降の「臨床救急医学会」もしくは「日本診療放射線技師学術大会」で報告予定です。